



デジタル市役所の実現を目指し、NEC（日本電気株式会社）と「デジタルまつど共創協定」を締結！

松戸市は、更なる市民の皆さまの利便性向上と職員の事務の効率化を目指し、様々な手続きや相談、情報の確認や提供が、デジタルで完結する「デジタル市役所」を実現するため、国内最先端の技術力を備えるNEC（日本電気株式会社）と「デジタルまつど共創協定」を締結します。

●協定締結式

日時 令和8年2月4日（水）13時30分から

場所 松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席者 日本電気株式会社 社会公共ソリューション事業部門長 小須田 亮 様
松戸市長

●協定締結のねらい

- ・ 従来のシステム導入では、計画、予算化、契約手続き、導入調整を含め約3年程度の期間を要しますが、実証段階からの共創により、本市で活用できると判断した場合には、迅速な導入を目指します。
- ・ 早期の実証段階から、自治体業務特有の課題等のフィードバックを繰り返すなど、システム構築に協力することで、より安価での活用を目指します。

●NEC 社と協定を締結する理由

NEC 社は、松戸市の様々なシステムやサービスの基盤となる情報ネットワークや住民基本台帳システム等の構築事業者であり、機能やデータを組み合わせた高品質なサービスの提供が可能です。また、同社は本市での「先進的な行政サービス」の実証事業により、得られた知見を活かし、全国の自治体へのサービス提供を迅速に進めることができます。

●本協定による効果

技術革新の早いデジタル分野で、民間の先進企業と共創することにより、以下の効果が見込まれます。

1. 環境変化への迅速な対応
2. 事務効率化による経費の低減
3. 関係職員のスキル向上



やさシティ、まつど。
matsudo

●本協定により進めていく取組（現時点）

1. デジタルまつどポータル（令和8年度前半 導入予定）

市民の皆様が手続きや困りごとに直面した際、迷わず直感的に必要なサービスにたどり着ける、「デジタル松戸市役所」の入口・玄関（ポータル）スマートフォンアプリ。

リリース当初は松戸市が提供するオンラインサービス案内機能と関心情報の配信機能から開始し、さらに今後、市民の皆様一人ひとりに最適化した情報をご案内できる機能の追加などを検討。

※iOS Android にて提供予定

●市民の皆様は、スマートフォンからデジタルまつどポータルのアプリを起動するだけで、さまざまなオンラインサービスを利用することができ、簡単に多くの申請や手続きが完了します。



2. E B P M支援分析ツール（今後導入予定）

政府統計調査データ(e-Stat)を基に、生成AIが政策立案や効果分析の比較、指標を自動作成するサービス。700種以上の公的統計データを活用することで、主観にとらわれない客観的データによる政策分析や、政策立案が行えます。

※E B P M (Evidence Based Policy Making) : 「証拠に基づく政策決定」

●本市の人口動態や税情報などを生成AIが分析し、比較資料などを自動作成することで、職員はさまざまな事業へ活用が可能となります。

3. A I アバター受付サービス（実証実験予定）

今後正式導入となれば県内初！

生成AI+アバターによる受付コミュニケーションサービス。来庁者とAIアバターが直接対話し、内容に応じて一人ひとりに丁寧に最適なご案内が行えます。

※アバター デジタル上における、人間の分身となる仮想キャラクター。

本サービスの場合は受付職員の分身となる3Dモデルのことを指します。

●窓口などに設置したモニターで、市民の皆様とAIアバターが直接会話し、ご案内やご説明を行います。音声や文字でのやりとりにより、外国人の方や、耳や目が不自由な方にも丁寧な対応が可能となります。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市総務部デジタル戦略課

☎047-366-7399 FAX047-363-3200

✉ matsuinfo2@city.matsudo.chiba.jp